

超極早生ウンシュウ「みえ紀南 1 号」の機能性成分(β-クリプトキサンチン)はマルドリ方式栽培で増加させることができる

利用対象：果樹栽培農家

「みえ紀南 1 号」のマルドリ方式栽培は、高品質果実の生産を可能にする技術として有効であり、増糖効果に加えて、骨粗しょう症予防などに効果のある機能性成分のβ-クリプトキサンチンも増加させることができます。

表 1 「みえ紀南 1 号」のマルドリ方式による果実品質向上効果 (2016 年)

実証園地	処理区	選果場出荷実績			
		糖度 (Brix)	クエン酸 (%)	単位収量 (kg/10a)	S-Lサイズ割合 (%)
熊野市 A園	マルドリ	10.7	1.06	905	83.9
	露地	10.3	1.03	672	75.3
紀宝町 B園	マルドリ	10.6	1.05	1,535	88.0
	露地	9.8	1.01	1,521	90.2

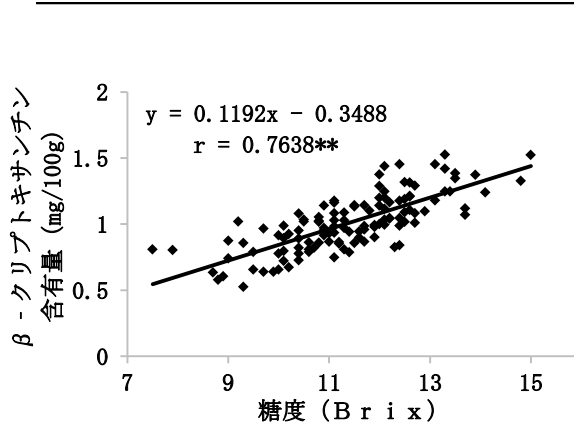


図 1 「みえ紀南 1 号」の糖度とβ-クリプトキサンチン含有量との相関

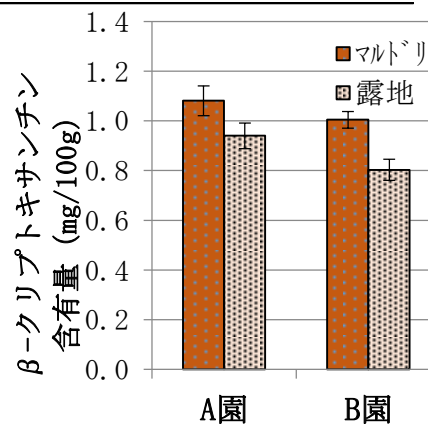


図 2 「みえ紀南 1 号」現地実証園における栽培別β-クリプトキサンチン含有量

特徴

- 「みえ紀南 1 号」においても他のウンシュウミカンと同様、果実の糖度とβ-クリプトキサンチン含有量との間に相関関係が見られます。
- マルドリ方式栽培を行うことにより、糖度の高い高品質（糖度 10.5%以上、酸度 1.1%未満）な果実が生産でき、さらにβ-クリプトキサンチン含有量も向上させることができます。

適用地域と注意点

- 三重県内のウンシュウミカンが栽培可能な地域で適用できます。
- マルドリ方式栽培の効果は水分制御によるものです。そのため、マルチ被覆を完全に行って雨水の流入を抑え、かん水設備を整えて水分制御が可能な状態にすることが必要です。
- マルドリ方式栽培による水分制御は、水分ストレスの過不足が無いように水分チェックボール等で樹の水分不足度を把握しながら、かん水等による適度な水分管理を行うことが大切です。

お問い合わせ先	紀南果樹研究室	湊英也、須崎徳高	電話 05979-2-0008
	中央農業改良普及センター	西川豊	電話 0598-42-6323
参考になる資料	http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm		